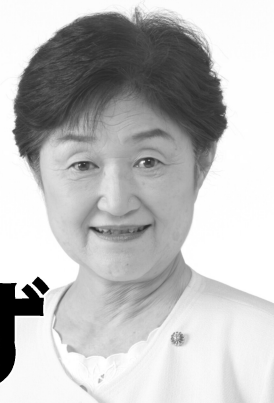


くらしの目線で市政を変える

こんにちは

京都市会議員

西野さち子です！



発行：2024年2月18日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117

京都市長選挙

福山和人候補大健闘も及ばず



16万1203票(得票率34.4%)
参院比例票の2.16倍

一大争点となった
「政治とカネ」

2月4日に行われた京都市長選挙は、「暮らし応援の市政」を実現してほしいという市民の願いと共に、自民党の「政治とカネ」の問題に国民的な批判が集中する中でたまたかわれました。福山和人候補は大激戦の中で奮闘しましたが、残念ながら勝利には至りませんでした。

「つなぐ京都2024」には、立場の違いを超えて、日本共産党、新社会党、緑の党グリーンズジャパン、れいわ新選組、社会民主党や立憲民主党を支持する個人の方

など幅広い多くの皆さんが支援されました。5日に行われた報告集会には会場いっぱいの市民の皆さんと多くのズーム参加の皆さんが、今回の運動を次ぎにつなげようと誓い合いました。日本共産党は行財政改革計画の撤回を求め、市民の皆さんと引き続き頑張ります。

伏見では4年前から872票増

行政区	福山和人		20年福山票比較		松井孝治		20年門川票比較		村山祥栄		20年村山票比較		二之湯真士	
	今回	得票率	得票	得票率	今回	得票率	得票	得票率	今回	得票率	得票	得票率	今回	得票率
北区	15,184	37.5%	190	0.2%	14,648	36.1%	▲ 2,211	-5.7%	6,188	15.3%	▲ 2,236	-5.6%	4,355	10.7%
上京区	10,558	37.0%	▲ 77	-0.5%	10,333	36.2%	▲ 1,692	-6.2%	4,405	15.4%	▲ 1,330	-4.8%	3,160	11.1%
左京区	23,153	39.2%	595	1.5%	18,733	31.7%	▲ 426	-0.3%	12,661	21.4%	▲ 5,430	-8.8%	4,291	7.3%
中京区	13,174	33.2%	▲ 368	-2.3%	15,315	38.6%	▲ 869	-3.8%	6,333	15.9%	▲ 2,174	-6.3%	4,692	11.8%
東山区	3,971	34.5%	▲ 522	-2.3%	4,331	37.6%	▲ 762	-4.1%	1,926	16.7%	▲ 709	-4.8%	1,216	10.6%
山科区	12,974	32.4%	66	1.2%	16,921	42.3%	▲ 4,849	-10.4%	5,832	14.6%	▲ 867	-1.6%	4,109	10.3%
下京区	8,527	32.5%	48	-0.7%	10,058	38.3%	▲ 1,202	-5.8%	4,468	17.0%	▲ 1,331	-5.7%	3,099	11.8%
南区	9,310	32.7%	▲ 252	-1.2%	11,686	41.0%	▲ 2,145	-8.0%	4,172	14.6%	▲ 661	-2.5%	3,145	11.0%
右京区	21,804	32.5%	▲ 1,042	-2.6%	23,101	34.4%	▲ 6,427	-11.0%	9,551	14.2%	▲ 3,124	-5.2%	12,358	18.4%
西京区	15,766	32.7%	75	0.0%	19,036	39.4%	▲ 4,212	-8.9%	7,375	15.3%	▲ 1,746	-3.7%	5,840	12.1%
伏見区	26,782	34.2%	872	1.7%	33,292	42.5%	▲ 8,391	-9.7%	9,702	12.4%	▲ 2,638	-3.1%	8,165	10.4%
京都市計	161,203	34.4%	▲ 415	-0.2%	177,454	37.9%	▲ 33,186	-7.2%	72,613	15.5%	▲ 22,246	-4.8%	54,430	11.6%

▲は後退

市長選挙の結果について

市会議員団声明

市会議員団の声明の概要は「今回の市長選では、市民生活と福祉、生業に対する予算を削減する『国言いなりの冷たい市政』を転換し、『暮らし応援の市政』を実現する福山候補に多くの市民から期待の声が寄せられました。」「今回の選挙は、自民党の『政治とカネ』の問題に国民的な批判が集中する中でたたかわれました。また、京都民報の報道をきっかけに、村山祥栄氏が『架空パーティー』疑惑で大きな批判を浴び、京都市で維新政治を許さない重要な成果となりました。福山和人候補は『政治はお金の力でなく、市民の声で』と訴えて市民の共感を呼びました。」「現職陣営は、福山候補に対して『共産市長候補』とレッテルを貼り、『一党一派が支援する市長では京都は大停滞・大後退』と、ビラや新聞広告で攻撃しました。しかし、市民の願い実現に市民と共に力を合わせてきたのが共産党であり、レッテル貼りは市民の願いを阻む市民への攻撃と言わなければなりません。れいわ新選組、新社会党、立憲サポーター、無党派市民の方なども共に押し上げたことを無視することは許されません。一方で、国政与野党の『相乗り』に対する不信が深まった選挙でした。」「選挙の結果は、現市政に対する批判と市政転換の市民の願いを示すものとなりました。新市長が市民の声をよく聞いて『行財政改革計画』を撤回し、市民の暮らしを守る政治を進めることが緊急に求められています。党議員団は、『北陸新幹線京都地下延伸計画の抜本的見直し』『巨大給食工場でなく学校調理の中学校給食の実現』『18歳までの医療費無償化など5つの無償化』等、福山候補の掲げた公約の実現に、市民の皆さんとともに全力を挙げる決意です。」全文はホームページに掲載しています。